

お客様各位

平成 18 年 2 月
システムライフ株式会社
セイコーエプソン株式会社

InterKX 内訳書・概況書 財務データ連動の不具合について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は、エプソン製品をご愛用くださいます、厚く御礼申し上げます。

さて、「InterKX 内訳書・概況書」の財務データ連動で、次の不具合が確認されました。

つきましては、不具合の内容と対応方法について、取り急ぎ、ご連絡いたしますので、ご多忙中大変恐れ入りますが、ご確認をお願いいたします。

なお、プログラムの対応時期等につきましては、明確になった時点で、追って連絡させていただきます。皆様に多大なご迷惑お掛けいたしますこと、深くお詫び申し上げます。

敬具

記

1. 不具合の内容

1-1.現象

InterKX 財務会計 Ver.2.3 以前のプログラムで、財務データ連動を行っていた会社データを InterKX 財務会計 2006 または InterKX 財務会計 Ver.3 以降のプログラムへのデータのコンバートをした上で、再連動を行うと、概況書の科目割付が変更されてしまい、「7.主要科目」欄の「売上(収入)高」欄等に正しい金額(残高)が連動されません。

1-2.対象帳表

正しく連動が行えない帳表は、以下のとおりとなります。

- ・勘定科目内訳明細書
- ・法人事業概況説明書

1-3.対象システム

- ・InterKX 内訳書・概況書 Ver.6.0/7.0/10.0

Ver.10.0 へのデータ移行可能バージョンのみを記載しています。

1-4.発生条件

以下のすべての条件を満たす会社データで、上記現象が発生します。

- ・InterKX 財務会計 2006 Ver.3 以降、または InterKX 財務会計 Ver.3 以降のプログラムとの財務データ連動を行う場合
- ・InterKX 財務会計 Ver.2.3 以前のプログラムで財務データ連動を行っていた会社データを InterKX 財務会計 2006 Ver.3 以降、または InterKX 財務会計 Ver.3 以降のプログラムにコンバートし、再連動する場合

InterKX 財務会計 2006 Ver.3 以降、または InterKX 財務会計 Ver.3 以降のプログラムで、初めて財務データ連動を行う場合は問題ありません。

2. 対応方法

大変恐れ入りますが、プログラム対応までの間に、財務データ連動を行う場合は、以下に記載の手順での処理をお願いいたします。

お忙しい中、お手数をお掛けしますこと、深くお詫び申し上げます。

法人選択画面で、**<財務データ連動>**を選択します。

財務データ選択画面で、連動するデータを選択します。

連動先の内訳書・概況書の法人データを選択し、**<法人選択>**を押します。

表示された取り込み科目の確認画面で、赤色表示されている科目（前回連動時に内訳書・概況書に転送済みで今回の連動時に財務データから削除されたとみなされた科目）がないかを確認します。

<赤色表示される科目（削除科目）がない場合>

不具合に該当しない法人データです。通常どおりの手順で連動処理を行ってください。

<赤色表示される科目（削除科目）がある場合>

不具合に該当する法人データです。赤色表示された科目について、科目割付の追加が必要となりますので、該当科目をメモしておいてください。

【科目データ取込画面例】



確認終了後、**<OK>**を押します。

赤色表示されている科目がない場合は、以降の処理を通常どおり、続行します。

赤色表示されている科目がある場合は、該当科目について、科目割付の追加が必要となります。

へ

タブメニュー「財務データ取り込み」の「内訳書」または「概況書」を選択し、上記でメモした科目について、連動したい内訳書または概況書の各項目への科目割付を追加します。

科目割付の追加後、「内訳書データ取り込み」または「概況書データ取り込み」画面で、**<OK>**を押せば、科目割付にしたがって、正しい残高データが連動されます。

以上で、科目割付の追加は終了です。

3. プログラムの対応予定について

対応版プログラム（Ver.10.0用）のご提供を検討中です。

対応時期等の詳細につきましては、別途、ご連絡させていただきます。

以上